2026年11月9日

各　位

会 社 名　株 式 会 社 Ｔ Ｏ Ｒ Ｉ Ｃ Ｏ
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　安藤　拓郎
（コード番号：7138　東証グロース市場）
問合せ先　専　務　取　締　役　鯉　沼　　充
（TEL：03－6261－4346）

営業外収益（暗号資産評価益）の計上に関するお知らせ

当社は、2027年３月期 中間連結会計期間において、営業外収益（暗号資産評価益）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本件による2027年３月期の連結業績予想の修正はありません。

記

１．営業外収益（暗号資産評価益）の計上について

当社は、2026年４月22日付「営業外費用（暗号資産評価損）の計上及び2026年３月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、保有する暗号資産（イーサリアム）につきましては、税務上の時価評価課税の適用対象外とするための移転制限措置は適用・維持しつつも、会計上は期末における時価評価を実施し、評価損益を計上する方針としております。

この方針に基づき、当社が保有する暗号資産（イーサリアム）について2026年９月30日時点の時価評価を行った結果、当中間連結会計期間において、営業外収益として暗号資産評価益255,860千円を計上いたしました。なお、第１四半期連結累計期間に計上した暗号資産評価損216,793千円（2026年８月13日公表）は、第２四半期連結会計期間の時価上昇により解消し、中間連結会計期間の累計では評価益となっております。

（参考）2026年９月30日時点の暗号資産（イーサリアム）保有状況

期末保有数量：　3,026.4492 ETH
取 得 価 額 ：　1,277,528千円
期 末 評 価 額 ：　1,279,283千円

２．業績への影響

上記の暗号資産評価益の計上を反映した 2027 年３月期　中間連結会計期間の業績（経常利益194,411 千円、親会社株主に帰属する中間純利益 191,938 千円）につきましては、本日別途公表の「2027 年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載のとおりであります。

なお、2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、保有する暗号資産の期末時価評価による影響が大きく、現時点で合理的な数値の算定が困難であることから、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を非開示としており、本件による通期業績予想の修正はございません。

以　上